

# 東北の工時報

行發日五廿月五月毎  
吉梅越堀 行發業報印  
八三町銀白北平縣島福  
社報専工商北東 所行發  
六 藝 川 古  
録拾五 金行一 料音廣  
録七 一 録七 月ケ一

## 縣下教員大異動發表

### 近年にない大範圍

#### 總數實に一千五百四十六名

縣下教員大異動は卅一日發同退職一〇名表された、小學教員關係は計一、二六八名校長退職廿七名校長轉任百近來の大異動で和田學務部十八名訓導退職廿四名、長以下首腦部の決意の程が訓導就任六百六十七名准用教員退職百一名、同轉任百四十九名、總計千八百六十六名で師範新業教員青年關係を加へると千五百六十九名に上り昨年の千五百五十名に比し四百二十二名を増し中等教員は小關安達中學校長の退職以下六十二名の異動で昨年より廿三名増すといふ近來の大異動である、適材適所主義に基く時局下教育の徹底化に對す首腦部の思ひ切つた英斷が看取される

(今年) (前年)  
校長退職廿七名 十一名  
校長轉任一一八名 三九名  
訓導退休一二四名 一一名  
訓導轉任六六七名 五五名  
准代退職一〇一名 六五名  
准代轉任一四九名 一一五名  
青年校轉任七二名

### 平病院

醫學博士 鈴木定藏  
平市 太町  
電話六四一

教育界に清新の氣を注入し併せて空氣の刷新をはからんとする

任 草野小學校長  
任 安藤 力  
任 磐崎尋常高等小學校長  
任 野木 繁彌  
任 磐崎第二小學校長  
任 木村 宗喬  
任 大野第二小學校長  
任 高濱 兼應  
任 雙葉郡刈野小學校長  
任 佐藤 清照  
任 福島第四小學校長  
任 水野 未治  
任 堀 一郎

## 葉煙草の作地さなる

### 濱三郡農會張り切る

既報、郡山地方專賣局平出大堀(三反歩)相馬郡石神村張所管内濱三郡下の本年度(四反歩)試作地は左の如く決定廿九日郡山局内田技指導の下に米國産ホワイトプレー種酒類の販賣業者にきつひおの播種を了した、今年度試達しが出てそれと違反する作反別は僅一町七反歩だが五百圓以下の罰金に處される成績如何により明年は三百町歩を本耕作せしめるといふので各試作者をば清酒、白酒、味淋、焼酎麥の三郡農會は太した張り切類、酒類又は酒精含有飲料り方である石城郡植田町(販賣業、販賣の仲介業を含む)「反歩」双葉郡久之濱、廣「販賣場」を營まうとするには販賣場一ヶ所に政府の免許を

## 善行美談

(其の一)

### 木澤常松氏

木澤常松氏は社會公益事業番模範功績表賞狀授與第三に生きたる最も典型的な努力下水路完成、第四ヶヶ岡公の士として氏は多忙と難務園八幡神社方面貫通平風水を割りて大小差別なく會有の歴史跡に現在努力怠りつてくれるその親しみと愛なきと聞く。

情のこもつた口もとに微笑ことに木澤氏は眞面目に浮べてなんとなく父親に 銃後の護り憂なき様一心でも會つてゐる。様な氣持不亂に社會公共事に奮闘を思はせる。

氏の第一事業として杉之澤労働者として一般人より認め兩警第二事業として生命安らわられてゐる。玲瓏玉の如き足の表を示した古鍛冶踏切の人

## 信用第一主義を

### 和久井漆器店の進出振り

平市一丁目和久井漆器店信實、勉強、機敏、儉約、が何故に今日の隆盛を見た忍耐、謹慎

か。發展の域に向ひつ、を嚴守してゐることに據る。あるかといふことは、要す和久井漆器店はいづれの人るに時代に處した經營法に々にも評判が良く親しまれ、確るところ多いにしろな易いのは、良い品物を安く、信第一主義の標語とすべき賣る和久井漆器店の特色で、頭立立つて大衆の氣持ちをビツタリと捕らへたサービ

## 第一回の配

養兔改良の普及へ  
縣立鶏場では兔毛皮増産獎勵のため農林省から無償交付された青森産の白色改良種三百羽を親兔として優良種兔を縣下各郡町村農會下第一回配付として卅日午後石城郡勿來、大野、大浦各農會へ百番、田村郡守山、養兔組合に廿番を發送當日縣か、田中種鶏場長來郡款心に雌雄鑑別を行つた生後三ヶ月乃至三ヶ月の可愛仔兔で雌雄一番一圓五十錢で本年度内に一千番二千羽を拂下げ養兔縣として全國に専ら誇つてゐる、本縣の養兔改良普及を圖る、田中場長は意氣込んでゐる。

## 關内藥局

平市三丁目泰然として立してゐる關内藥局は市民に親しまれ近郷近村から最も買ひよき店として評判が高い。店主關内榮助氏は精味豊かな人で自から第一線に立つて活躍してゐる。角として優良な業績をあげてゐる

家具のデパート  
和洋家具の一切豊富  
取揃  
福島市本町唐木屋具店  
電話八二五番

松葉館 常部  
福島縣桑折町  
肥料問屋

齋藤小四郎商店  
福島市置賜町

金澤治助  
電話三六番

明治病院  
院長 幡英三

立福島病院  
電話一六六  
五三八

根本藥舖  
郡山市中町  
電話五七七 七四番

丸伊吳服店  
郡山市中町  
電話七八、七九番

菊地徳太郎  
平市田町

井坂醫院  
平市田町  
電話五五九

齋藤醫院  
郡山市中町  
電話五五九

齋藤醫院  
郡山市中町  
電話五五九

齋藤醫院  
郡山市中町  
電話五五九

小學校作文

便り

縣下各小學校生の作文

久之濱小學校

尋六ノ二 鈴木千代治

戦地の勇士へ

兵隊さんお達者ですか。戦地は寒いでせうね。私達は毎日朝會の時に兵隊さんに對して戦地に向つて感謝の禮をしてゐます。これまで私達は何度となく戦地に出征する兵隊さんを停車場で送りましたが、兵隊さんもお元氣で行つたあの時の様子を思ふ時愉快でたまりません。そしてあれ程勇ましく、戦ひ連戦連勝出来るのもあの見送の時元氣があるからだと思ひ、又私達は固く銃後を守つて、いくら戦争が長くならうとも何時まで続くかとも、びくともしず守る覺悟であります。兵隊さん方も御國のためにしつかり働いて下さい。この前私の兄さん等出征軍人の家に度々手傳に行かれました。強いことばかりいつてゐる支那も、上海も落ち南京も落ちてしまつたから、もうがいせんも近い事だらうと思つて居りましたが、先生の話によりますと、戦争はまだ長くかゝるとの事です。私達も一層一心になつて國を守らな

ればならぬと思ひました。そして毎日先生の教を受け一心に勉強して居ります。この間戦地から来たお便りを校長先生から讀んで聞かされていたゞきました。その中には、まだ一度も靴をぬいてねたことのない人が澤山あります。さうだね。全くとつくりしました。それに私達もさういふ少年が兵隊になつてゐるさうですね。私達の幸福をしてみなさん、感謝して居るのですね。私達は立派な學生の方のおかけで深くお禮を申し上げます。

兵隊さんもお勞れでせうが尙元氣を出して戦つて下されう。

私達は、毎日神に皆様の武運長久をお祈りして居ります。さやうなら。

支那にいつてゐる

兵隊さん

豊岡 三男 鈴木正一

ばくは、しなに行つてゐる兵隊さんのお話しを、毎日のやうに學校の校長先生や、うけもちの先生にきいてゐます。ばくも、早く大

きくならうとも何時まで続くかとも、びくともしず守る覺悟であります。兵隊さん方も御國のためにしつかり働いて下さい。この前私の兄さん等出征軍人の家に度々手傳に行かれました。強いことばかりいつてゐる支那も、上海も落ち南京も落ちてしまつたから、もうがいせんも近い事だらうと思つて居りましたが、先生の話によりますと、戦争はまだ長くかゝるとの事です。私達も一層一心になつて國を守らな

を大切にして下さい。

教育者のプロフェル

刻苦精勵はついにむくいられて見事警備第二小學校に榮轉した木村素齋氏はかくれたる努力の士だ。

初一念を貫徹する第一歩の新校長としての今後の活躍を期待する。

双葉郡教育界の元老校長として光榮ある浪江小學校長根本貞治氏は寢食を忘れて教育の向上に盡力されてゐる。

氏より自重して教育の刷新に一層の光輝あらしめんことを望むものである。

温情校長のニッソネームのある湯本小學校長菊池正一氏は如何なる多忙と云へん好く來訪者に對して面會し

てくれる社交家であり聰明な君子的教育者として教育の刷新を計り人望の厚き福徳な士だ。

福島縣教育界のピカ一ツ郡山第三小學校長木村一氏は朝早く出勤し人の二倍も働いて正義觀念に燃ゆる熱血の士だ。

亦氏は教育界の先覺者として地方民より定評のある謹嚴な理解のある人格者だ。

投稿募集

當社では豫ねてよりあらゆる階級の生活を通じて少しも有益なる一川柳、短歌、詩、和歌等の世に於て知られなかつた逸話或は善行美談等の一般の投稿によつて知りたいと存じます。何卒御投稿あらんことを。(宛) 平市北白銀町三東北商工時報編輯部

松ヶ岡公園の櫻

松ヶ岡公園の櫻も今月十日頃には七分通り咲きの見頃、妍を競ふあでやかな花の粧ひに市民の心をどる足取りは軽い北支那海に頭張つてゐた高氣壓がおのぞみ通り南方海上に進行したので春や春の絶好の花見日和を期待せらる

社告

當社は次號より太こう坊諸君達のため、今度各地方面を行脚し殊に犠牲を拂つて魚釣場所を詳しく御紹介いたします。

祝發展

七周年記念號

平大工町

多田井商店

電話五九一

高岡屋商店 平市堂の前 電話四〇六番

平製作所 平市堂の前 電話四一四番

釜屋商店 金物屋 久問 洋銅 和鐵 平市 電話九番 九九番

平電氣鑄所 平市堂の前 電話二六二番

山田文一商店 平市仲町 電話二六二番

山田麻袋商店 内郷村御代境 電話一九二番

小野屋藥局 平市四丁目 電話一四四番

河田鐵工場 合資 平市七丁目 電話三二九番

江尻醫院 平市田町 泌尿科、皮膚科、性病科 醫學博士 江尻伊三郎 電話六九一

強口唯七郎 土木建築請負業 平市田町

武藏鐵工場 平市才植小路 電話五一四番

大阿部木店 平市紺屋町公園下 電話四九四番

羽織田木商店 平市紺屋町 電話四六〇番

森合科醫院 植田町 齒科、外科、芳男

武子屋商店 平市六丁目 電話六一八番

福島銀行平支店 平市三丁目 支店長 菅保平 電話三六八番

七十七銀行 平市三丁目 電話二二一

福島貯蓄銀行 株式會社 平市三丁目 支店長 安齋 電話三〇八番

常陽平支店 平市三丁目 支店長 中山毅雄 電話三〇番

二本松土曜會 油井村廣告組合

大日本電力營業所 石城郡銀行組合

石城郡校長會 石城郡校長會

平藝妓屋組合 湯本二業組合

湯本無盡會社 湯本無盡會社

横田定好 製材 勿來驛前 電話三一三番

永山徳一 田村實業銀行

田子洋行 福島縣勿來町 電話四三三番

額賀醫院 四倉町 院長 額賀讓

半谷醫院 新山町 院長 半谷廣男

石川醫院 院長 石川敏

横山彰介商店 平市三丁目 電話九四番

酒井伴城商店 平市田町驛前 住吉屋セメント店 電話六六一